

| | | | | | | | | | |
|---------------------|--|------|-------|---------|---------|-----|---|---|-----|
| 授業科目名 | 解剖生理学 | | | 科目コード | F113-10 | | | | |
| 科目区分 | 専門科目・栄養士専門基礎科目・ 人体の構造と機能 | | 担当教員名 | 田淵 英一 | | | | | |
| 開講時期 | 1年後期 | | 授業の方法 | 講義 | | | | | |
| 必修・選択 | 必修 | | 単位数 | 2単位 | | | | | |
| 前提科目(知識) | | | 後継科目 | 解剖生理学実験 | | | | | |
| 関連科目 | 病理学 | | | | | | | | |
| 資格等 取得との関連 | 栄養士免許・栄養教諭二種免許の各資格に必須 | | | | | | | | |
| 授業の概要 | 人体を構成している各組織や器官の構造（解剖学）と機能（生理学）について知り、正しく理解する。また、様々な機能を持つ一個体が生体機能を維持するために、各器官がどのように機能分担して働いているかを理解する。これにより、ヒトを対象とする栄養学に必要な基本的医学知識および理解を獲得する。 | | | | | | | | |
| 学習目標 | 栄養士として必要な人体の構造および機能の概要を知り、理解する。 | | | | | | | | |
| キーワード | 解剖、生理、ヒト、遺伝、細胞、臓器、医学 | | | | | | | | |
| テキスト・ 参考書等 | 佐藤昭夫、佐伯由香著 人体の構造と機能 医歯薬出版 | | | | | | | | |
| 学修成果 | 学生が獲得するべき具体的な成果 | | | | | | | | |
| LO-1 | 人体を構成している各組織や器官の名称および機能を説明できる。 | | | | | | | | |
| LO-2 | 栄養士に関わる解剖生理学系の専門技術や技法を習得している。 | | | | | | | | |
| LO-3 | 分子・遺伝子レベル、細胞レベル、臓器レベルで、ヒトの成り立ちを考えることができる。 | | | | | | | | |
| LO-4 | 授業を通して、自分自身を含め、人間が自然の"理"の中で生きていることへの関心をもっている。 | | | | | | | | |
| LO-5 | 人体の構造と働き、さらには人間社会の成り立ちの基本がわかることにより、社会的能力の必要性がわかる。 | | | | | | | | |
| 評価方法 / LO (学修成果) | 筆記試験 | | 提出課題 | | 成果発表 | その他 | | | 合計 |
| | 定期試験 | 小テスト | レポート | 作品 | | A | B | C | |
| 総合評価(割合) | 100 | | | | | | | | 100 |
| LO-1 | 40 | | | | | | | | 40 |
| LO-2 | 10 | | | | | | | | 10 |
| LO-3 | 30 | | | | | | | | 30 |
| LO-4 | 10 | | | | | | | | 10 |
| LO-5 | 10 | | | | | | | | 10 |
| 備考 | 試験は記述式です。 身体の構造と仕組みについての知識度と理解度で判定します。 | | | | | | | | |

授業計画

| 回数 | 授業内容 詳細 | 標準時間 |
|------|---|------|
| 第1回 | 総論：ヒトはどのような存在なのか。進化論を基本として考える。 臓器：身体を構成している臓器の名称とはたらきの概要を理解する。 | |
| | 【予習】テキストを読み、授業内容の概要を把握する。 | 30分 |
| | 【復習】自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解しておくこと。 | 180分 |
| 第2回 | 細胞・組織：細胞や組織の維持に関わるホメオスタシスの概念、細胞の構造と仕組みを理解する。 | |
| | 【予習】テキストを読み、授業内容の概要を把握する。 | 30分 |
| | 【復習】自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解しておくこと。 | 120分 |
| 第3回 | 遺伝子：遺伝子によるタンパク質合成の仕組みを理解する。 | |
| | 【予習】テキストを読み、授業内容の概要を把握する。 | 60分 |
| | 【復習】自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解しておくこと。 | 180分 |
| 第4回 | 運動：神経系、骨格筋、骨格、関節の構造と機能の基本を知る。また、これら臓器により遂行される運動の基本を知る。 | |
| | 【予習】テキストを読み、授業内容の概要を把握する。 | 30分 |
| | 【復習】自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解しておくこと。 | 120分 |
| 第5回 | 神経系：神経系の分類、ニューロンの構造と働き、静止・活動電位について知る。 自律神経：交感神経および副交感神経の働きを知る。 脳：ヒトの精神的活動の多くを担う大脳皮質の機能の概要を知る。 | |
| | 【予習】テキストを読み、授業内容の概要を把握する。 | 60分 |
| | 【復習】自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解しておくこと。 | 120分 |
| 第6回 | 感覚：感覚刺激の種類、特徴を知り、感覚受容の基本的な仕組みを理解する。 聴覚、視覚：人間が持つ感覚のうち、とくに重要な聴覚および視覚の働きを理解する。 | |
| | 【予習】テキストを読み、授業内容の概要を把握する。 | 60分 |
| | 【復習】自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解しておくこと。 | 120分 |
| 第7回 | 循環：心臓、血管系（動脈と静脈）、リンパ管の基本的構造と機能を理解する。 血液：血球成分（赤血球、白血球、血小板）および血漿成分の基本的な種類、構造、機能を知る。 | |
| | 【予習】テキストを読み、授業内容の概要を把握する。 | 60分 |
| | 【復習】自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解しておくこと。 | 180分 |
| 第8回 | 免疫：白血球のうち、リンパ球による働きを免疫という。その免疫の働きを理解する。 抗原抗体反応、血液型について理解する。 | |
| | 【予習】テキストを読み、授業内容の概要を把握する。 | 60分 |
| | 【復習】自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解しておくこと。 | 180分 |
| 第9回 | 体液の組成、水分の出納バランスの概要を理解する。 呼吸：呼吸系器官の基本的構造と機能を理解する。 | |
| | 【予習】テキストを読み、授業内容の概要を把握する。 | 60分 |
| | 【復習】自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解しておくこと。 | 120分 |
| 第10回 | 消化と吸収 1：関連臓器（口腔、食道、胃、小腸、大腸、膵臓、肝臓）の構造と機能を知る。 | |
| | 【予習】テキストを読み、授業内容の概要を把握する。 | 60分 |
| | 【復習】自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解しておくこと。 | 120分 |

| | | |
|------|---|------|
| 第11回 | 消化と吸収2：食欲、味覚、摂食、消化・吸収という“食べる”仕組みを理解する。 | |
| | 【予習】テキストを読み、授業内容の概要を把握する。 | 60分 |
| | 【復習】自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解しておくこと。 | 120分 |
| 第12回 | 栄養と代謝：栄養、代謝、および栄養と代謝の関係の概要を理解する。 | |
| | 【予習】テキストを読み、授業内容の概要を把握する。 | 60分 |
| | 【復習】自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解しておくこと。 | 120分 |
| 第13回 | 尿の生成・排泄：関連臓器(泌尿器：腎臓,尿管,膀胱,尿道)の構造と機能を知る。 | |
| | 【予習】テキストを読み、授業内容の概要を把握する。 | 30分 |
| | 【復習】自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解しておくこと。 | 120分 |
| 第14回 | 体温調節：皮膚および脳内視床下部の温度受容器による体温調節機構を理解する。 皮膚：皮膚の構造と働きを理解する。 | |
| | 【予習】テキストを読み、授業内容の概要を把握する。 | 30分 |
| | 【復習】自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解しておくこと。 | 120分 |
| 第15回 | 内分泌：内分泌の担い手であるホルモンを生成する臓器の種類、構造、機能を知る。 性と生殖：性と生殖の意味、および生殖器の構造と機能を知る。 | |
| | 【予習】テキストを読み、授業内容の概要を把握する。 | 60分 |
| | 【復習】自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解しておくこと。 | 120分 |

| | | | | | | | | | |
|---------------------|--|------|-------|-------|---------|-----|---|---|-----|
| 授業科目名 | 官能評価論 | | | 科目コード | F151-23 | | | | |
| 科目区分 | 専門科目 - フードスペシャリスト科目 | | 担当教員名 | 深井 康子 | | | | | |
| 開講時期 | 2年後期 | | 授業の方法 | 演習 | | | | | |
| 必修・選択 | 選択 | | 単位数 | 1単位 | | | | | |
| 前提科目(知識) | 調理学 食品学 | | 後継科目 | | | | | | |
| 関連科目 | フードスペシャリスト論 食品鑑別論 | | | | | | | | |
| 資格等 取得との関連 | フードスペシャリスト資格取得に必須 | | | | | | | | |
| 授業の概要 | フードスペシャリストとして必要な官能的な食品の評価法の技術や物理的な評価法を学ぶ。その理論を基にグループによる官能評価を手法に応じて実際に準備・計画し、結果を解析して発表を行い、理解を深める。 | | | | | | | | |
| 学習目標 | フードスペシャリスト資格認定試験の合格を目指して過去問題の傾向と対策を習得する。 | | | | | | | | |
| キーワード | フードスペシャリスト資格認定試験 官能的な評価法 物理的な評価法 | | | | | | | | |
| テキスト・ 参考書等 | 日本フードスペシャリスト協会編「食品の官能評価・鑑別演習」(建帛社) | | | | | | | | |
| 学修成果 | 学生が獲得するべき具体的な成果 | | | | | | | | |
| LO-1 | 官能評価の基本的な知識と食べ物の物理的な性質を理解して的確に評価できる | | | | | | | | |
| LO-2 | 基本的な知識をふまえて様々な手法を用いて実践できる | | | | | | | | |
| LO-3 | | | | | | | | | |
| LO-4 | グループのなかで互いに協力し、問題を解決して積極的に参加できる | | | | | | | | |
| LO-5 | | | | | | | | | |
| 評価方法 / LO (学修成果) | 筆記試験 | | 提出課題 | | 成果発表 | その他 | | | 合計 |
| | 定期試験 | 小テスト | レポート | 作品 | | A | B | C | |
| 総合評価(割合) | 70 | | 10 | | | 20 | | | 100 |
| LO-1 | 70 | | | | | | | | 70 |
| LO-2 | | | 10 | | | | | | 10 |
| LO-3 | | | | | | | | | |
| LO-4 | | | | | | 20 | | | 20 |
| LO-5 | | | | | | | | | |
| 備考 | その他：Aは授業の態度・意欲などを総合的に評価する。 レポートには、コメントをつけて返却する。定期試験では答案を返却し、問題の解説を行い、特に誤答が多い設問では重点的に解説を行う。 | | | | | | | | |

授業計画

| 回数 | 授業内容 詳細 | 標準時間 |
|------|--|------|
| 第1回 | 官能評価の概要と基本、フードスペシャリスト資格認定試験の概要 | |
| | 【予習】テキストのp.3～12を読んで予習する | 15分 |
| | 【復習】説明した内容を復習し、理解する | 30分 |
| 第2回 | 官能評価の実施法、手法1：比較法の特徴と解析、手法2：順位法の特徴と解析 | |
| | 【予習】テキストのp.12～21を読んで予習する | 15分 |
| | 【復習】説明した内容を復習し、理解する | 30分 |
| 第3回 | 手法3：一対比較法、手法4：評点法、手法5：SD法の特徴と解析 | |
| | 【予習】テキストのp.22～30を読んで予習する | 15分 |
| | 【復習】説明した内容を復習し、理解する | 30分 |
| 第4回 | 認定試験対策1：第1回～第3回までのまとめ、認定過去問題とその解説 認定問題集を持参する | |
| | 【予習】テキストのp.4～30までを読んで、過去の認定試験問題を解いてみる | 30分 |
| | 【復習】過去問題で正解しなかった問題を再度解き、要点を復習し理解を深める | 40分 |
| 第5回 | 食品の状態 | |
| | 【予習】テキストのp.59～63を読んで予習する | 15分 |
| | 【復習】説明した内容を復習し理解する | 30分 |
| 第6回 | 食品のレオロジーとテクスチャーとその必要性 | |
| | 【予習】テキストのp.64～69を読んで予習する | 15分 |
| | 【復習】説明した内容を復習し理解する | 30分 |
| 第7回 | 物理的性質の評価方法 | |
| | 【予習】テキストのp.69～78を読んで予習する | 15分 |
| | 【復習】説明した内容を復習し理解する | 30分 |
| 第8回 | 認定試験対策2：第5回～第7回までのまとめ、認定過去問題とその解説 認定問題集を持参する | |
| | 【予習】テキストのp.71～94までを予習し、過去の認定試験問題を解き、問題点を明らかにしておく | 30分 |
| | 【復習】過去問題で正解しなかった問題を再度解き、要点を復習する | 40分 |
| 第9回 | 第1回～第8回までのまとめ、認定過去問題とその解説 | |
| | 【予習】テキストのp.60～85までを予習し、過去の認定試験問題を解き、問題点を明らかにしておく | 60分 |
| | 【復習】過去問題で正解しなかった問題を再度解き、要点を復習する | 60分 |
| 第10回 | 官能評価の実際1：五味の識別試験 | |
| | 【予習】テキストのp.7の五味の識別テストを読んで予習する | 15分 |
| | 【復習】自分の五味の識別テスト結果を把握し、今後の嗜好評価で活かすようにする | 30分 |

| | | |
|------|---|-----|
| 第11回 | 官能評価の実際2：グループによる官能評価の準備・計画 | |
| | 【予習】テキストのp.12～30を予習する | 15分 |
| | 【復習】準備・計画を立てた方法が予定どおり実施できるか、確認する | 30分 |
| 第12回 | 官能評価の実際3：グループによる比較法を実施する | |
| | 【予習】テキストのp.12～17を読んで予習する | 15分 |
| | 【復習】実施した比較法の結果をまとめ、解析を行う | 30分 |
| 第13回 | 官能評価の実際4：グループによる順位法を実施する | |
| | 【予習】テキストのp.17～21を読んで予習する | 15分 |
| | 【復習】実施した順位法の結果をまとめ、解析を行う | 30分 |
| 第14回 | グループによる官能評価結果のまとめ、発表 | |
| | 【予習】第12回、第13回で実施した結果をグループで整理し、発表の準備をする | 15分 |
| | 【復習】全体のグループ発表を聞いて自分のグループの良かった点、改善すべき点を整理し、レポートをまとめる | 30分 |
| 第15回 | ビデオ視聴：うま味発見 | |
| | 【予習】うま味とは何か、について調べる | 15分 |
| | 【復習】官能評価全般について教科書により基礎的な知識を復習し、レポートを完成させる | 30分 |

| | | | | | | | | | |
|---------------------|--|------|-------|--------------------|---------|-----|---|---|-----|
| 授業科目名 | 子ども家庭支援の心理学 | | | 科目コード | C121-11 | | | | |
| 科目区分 | 専門科目 - 保育の対象理解 - 心理 | | 担当教員名 | 嶋野 珠生 | | | | | |
| 開講時期 | 1年後期 | | 授業の方法 | 講義 | | | | | |
| 必修・選択 | 必修 | | 単位数 | 2単位 | | | | | |
| 前提科目(知識) | 保育の心理学 | | 後継科目 | 子ども理解と援助 幼児理解 教育相談 | | | | | |
| 関連科目 | 教育心理学 | | | | | | | | |
| 資格等 取得との関連 | 幼稚園教諭二種免許、保育士資格 | | | | | | | | |
| 授業の概要 | 人の発達における生涯発達視点と初期経験の重要性について理解するとともに、子どもの発達にとって重要な役割を果たす家族・家庭について知識を習得し、子育て家庭の現状と家族家庭にまつわる現代的課題について理解する。 | | | | | | | | |
| 学習目標 | 1．生涯発達に関する心理学の基礎知識を習得し、初期経験の重要性、発達課題等について理解する。 2．家族・家庭の意義や機能を理解するとともに親子関係や家族関係等について発達の観点から理解し、子どもとその家庭を包括的にとらえる視点を習得する。 3．子育て家庭をめぐる現代の社会的状況と課題について理解する。 4．子どもの精神保健とその課題について理解する。 | | | | | | | | |
| キーワード | 生涯発達 初期経験 子育て家庭 家族・家庭 | | | | | | | | |
| テキスト・ 参考書等 | 実践家庭支援論 松本園子他著 (ななみ書房) 参考書：子ども家庭支援の心理学 白川桂子 福丸由香編著 (中央法規) | | | | | | | | |
| 学修成果 | 学生が獲得するべき具体的な成果 | | | | | | | | |
| LO-1 | 〔知識・理解〕 家庭支援に関する心理学の基礎的知識の習得ができる | | | | | | | | |
| LO-2 | | | | | | | | | |
| LO-3 | | | | | | | | | |
| LO-4 | 〔関心・意欲・態度〕 授業への意欲・関心をもって主体的に学んでいる | | | | | | | | |
| LO-5 | 〔人間性・社会性〕 グループ作業での仲間との協働、協力を積極的に図ることができる | | | | | | | | |
| 評価方法 / LO (学修成果) | 筆記試験 | | 提出課題 | | 成果発表 | その他 | | | 合計 |
| | 定期試験 | 小テスト | レポート | 作品 | | A | B | C | |
| 総合評価(割合) | 60 | | | 40 | | | | | 100 |
| LO-1 | 60 | | | 20 | | | | | 80 |
| LO-2 | | | | | | | | | |
| LO-3 | | | | | | | | | |
| LO-4 | | | | 10 | | | | | 10 |
| LO-5 | | | | 10 | | | | | 10 |
| 備考 | | | | | | | | | |

授業計画

| 回数 | 授業内容 詳細 | 標準時間 |
|------|----------------------------------|------|
| 第1回 | オリエンテーション | |
| | 【予習】シラバスを見て授業内容を確認 | 20分 |
| | 【復習】オリエンテーションを振り返り、半期間の授業予定の振り返り | 90分 |
| 第2回 | 乳幼児期の発達 | |
| | 【予習】保育の心理学で学んだ該当箇所の振り返り | 90分 |
| | 【復習】授業で使ったプリントや資料の見直しと整理 | 90分 |
| 第3回 | 幼児期の発達 | |
| | 【予習】保育の心理学で学んだ該当箇所の振り返り | 90分 |
| | 【復習】授業で使ったプリントや資料の見直しと整理 | 90分 |
| 第4回 | 学童期の発達 | |
| | 【予習】保育の心理学で学んだ該当箇所の振り返り | 90分 |
| | 【復習】授業で使ったプリントや資料の見直しと整理 | 90分 |
| 第5回 | 青年期の発達 | |
| | 【予習】保育の心理学で学んだ該当箇所の振り返り | 90分 |
| | 【復習】授業で使ったプリントや資料の見直しと整理 | 90分 |
| 第6回 | 成人期・中年期の発達 高齢期ノ発達 | |
| | 【予習】保育の心理学で学んだ該当箇所の振り返り | 90分 |
| | 【復習】授業で使ったプリントや資料の見直しと整理 | 90分 |
| 第7回 | 家族・家庭の意義と機能 | |
| | 【予習】教科書の該当箇所に目を通す | 90分 |
| | 【復習】授業で使ったプリントや資料の見直しと整理 | 90分 |
| 第8回 | 家族関係・親子関係の理解 | |
| | 【予習】教科書の該当箇所に目を通す | 90分 |
| | 【復習】授業で使ったプリントや資料の見直しと整理 | 90分 |
| 第9回 | 子育て経験と親としての育ち | |
| | 【予習】教科書の該当箇所に目を通す | 90分 |
| | 【復習】授業で使ったプリントや資料の見直しと整理 | 90分 |
| 第10回 | 子育てを取り巻く社会的状況 | |
| | 【予習】教科書の該当箇所に目を通す | 90分 |
| | 【復習】授業で使ったプリントや資料の見直しと整理 | 90分 |

| | | |
|------|--------------------------|------|
| 第11回 | ライフコースと仕事・子育て | |
| | 【予習】教科書の該当箇所に目を通す | 90分 |
| | 【復習】授業で使ったプリントや資料の見直しと整理 | 90分 |
| 第12回 | 多様な家庭とその理解 特別な配慮を要する家庭 | |
| | 【予習】教科書の該当箇所に目を通す | 90分 |
| | 【復習】授業で使ったプリントや資料の見直しと整理 | 90分 |
| 第13回 | 子どもの生活と生育環境とその影響 | |
| | 【予習】教科書の該当箇所に目を通す | 90分 |
| | 【復習】授業で使ったプリントや資料の見直しと整理 | 90分 |
| 第14回 | 子どもの心の健康にかかわる問題 | |
| | 【予習】事前資料に目を通す | 90分 |
| | 【復習】授業で使ったプリントや資料の見直しと整理 | 90分 |
| 第15回 | まとめと確認テスト | |
| | 【予習】これまでの授業全体の振り返りと整理 | 160分 |
| | 【復習】確認テストの振り返りと整理 | 90分 |

| | | | | | | | | | |
|---------------------|--|------|-------|------------|---------|-----|---|---|-----|
| 授業科目名 | 児童社会 | | | 科目コード | C111-21 | | | | |
| 科目区分 | 専門科目 - 保育の本質・目的 - 教育・保育 | | 担当教員名 | 高木 三郎 梅本 恵 | | | | | |
| 開講時期 | 2年後期 | | 授業の方法 | 講義 | | | | | |
| 必修・選択 | 選択 | | 単位数 | 2単位 | | | | | |
| 前提科目(知識) | 保育原理 教育原理 児童家庭福祉 社会的養護 | | 後継科目 | | | | | | |
| 関連科目 | 保育者論 相談援助 | | | | | | | | |
| 資格等 取得との関連 | 幼稚園教諭二種免許、保育士資格 | | | | | | | | |
| 授業の概要 | 子どもを取り巻く社会環境における現代的なトピックをとりあげ、その現状と課題について考える。また、そのような社会の中で、子どもの人権・福祉が守られ、心身ともに健やかに育つために必要とされる、教育・福祉に関する理念や法制度、さらには行財政の仕組みなどへの理解を深める。講義の中には外部講師による解説や、グループによる課題探究活動、討議・発表を織り込む。 | | | | | | | | |
| 学習目標 | 保育者として、現代の子どもを取り巻く社会的問題への総合的な認識を深めるとともに、個々の問題への解決力を身につける。 | | | | | | | | |
| キーワード | 法・制度 人権 福祉 社会的弱者 子ども | | | | | | | | |
| テキスト・ 参考書等 | ・教科書は特になし、毎回プリント配布。 | | | | | | | | |
| 学修成果 | 学生が獲得するべき具体的な成果 | | | | | | | | |
| LO-1 | 幼児教育をめぐる社会情勢や子どもをめぐる理念・法制度についての専門的な知識を持っている。 | | | | | | | | |
| LO-2 | 社会にかかわる専門的な知識を子ども・保護者支援に活かすためのコミュニケーション技術や、専門的な技能を持っている。 | | | | | | | | |
| LO-3 | 子どもや幼児教育をめぐる社会情勢について、体系的・論理的に考察し、その課題を自ら設定・解決することにより、保育にかかわる実践力を身につけている。 | | | | | | | | |
| LO-4 | 子ども・子育てをめぐる社会情勢に関する高い興味・関心を持ち、社会のニーズ・問題点を意識した保育・教育実践に主体的にかかわろうとしている。 | | | | | | | | |
| LO-5 | 子どもや社会的弱者・少数者への共感に基づいて、協働・共助の社会、持続可能性に満ちた地域の形成者としてありつづけようとしている。 | | | | | | | | |
| 評価方法 / LO (学修成果) | 筆記試験 | | 提出課題 | | 成果発表 | その他 | | | 合計 |
| | 定期試験 | 小テスト | レポート | 作品 | | A | B | C | |
| 総合評価(割合) | 50 | | 30 | | 10 | 10 | | | 100 |
| LO-1 | 20 | | | | | | | | 20 |
| LO-2 | | | 20 | | | | | | 20 |
| LO-3 | 20 | | 10 | | | | | | 30 |
| LO-4 | 10 | | | | | 10 | | | 20 |
| LO-5 | | | | | 10 | | | | 10 |
| 備考 | 提出物、レポート等については、成績評価やコメントを付して返却する。 その他の評価は、授業態度を含む。 | | | | | | | | |

授業計画

| 回数 | 授業内容 詳細 | 標準時間 |
|------|---|------|
| 第1回 | オリエンテーション（授業概要と授業の進め方） | |
| | 【予習】シラバスを確認しておく | 60分 |
| | 【復習】保育所・幼稚園の抱える課題を書き出し、まとめる。 | 90分 |
| 第2回 | ・子どもの育ちを支える法・制度（1回目） 保育所に関する制度と課題を理解する。 | |
| | 【予習】保育所に関わる新聞記事を切り抜き、その要点をまとめる。 | 90分 |
| | 【復習】保育所に関する制度と課題を整理しておく。 | 90分 |
| 第3回 | ・子どもの育ちを支える法・制度（2回目） 幼稚園に関する制度と課題を理解する。 | |
| | 【予習】幼稚園に関わる新聞記事を切り抜き、その要点をまとめる。 | 90分 |
| | 【復習】幼稚園に関する制度と課題を整理しておく。 | 90分 |
| 第4回 | ・子どもの育ちを支える法・制度（3回目） 認定こども園に関する制度と課題を理解する。 | |
| | 【予習】認定こども園に関わる新聞記事を切り抜き、その要点をまとめる。 | 90分 |
| | 【復習】認定こども園に関する制度と課題を整理しておく。 | 90分 |
| 第5回 | ・子どもの育ちを支える法・制度（4回目） 外国の保育制度について理解を深める。（とくに、スウェーデンとフランスを取り上げる） | |
| | 【予習】スウェーデンとフランスについて知っていることをまとめておく。 | 90分 |
| | 【復習】外国の保育制度と日本の保育制度の相違点と共通点を整理しておく。 | 90分 |
| 第6回 | ・子どもの育ちを支える法・制度（5回目） こども子育て支援新制度の概要と今後の幼児期の教育の課題について理解を深める。 | |
| | 【予習】こども子育て支援新制度について、知っていることをまとめておく。 | 90分 |
| | 【復習】こども子育て支援新制度の概要と今後の幼児期の課題についてまとめておく。 | 90分 |
| 第7回 | ・子どもと人権（1回目） 外部講師の講義を聞き、LGBTへの理解を深める。 | |
| | 【予習】LGBTについて、調べておく。 | 90分 |
| | 【復習】LGBTの問題と保育の関わりをまとめておく | 90分 |
| 第8回 | ・子どもと人権（2回目） 多文化社会における子どもの人権に対する理解を深める。 | |
| | 【予習】子どもの人権条約について調べておく。 | 90分 |
| | 【復習】多文化社会における子どもの人権に対する配慮すべきことについて、意見が言えるようにまとめておく。 | 90分 |
| 第9回 | 子どもと人権（3回目） 多様性を尊重する社会のあり方を踏まえて、保育のあり方について理解を深める。 | |
| | 【予習】保育所における子どもの多様性の実態について、調べておく | 90分 |
| | 【復習】多様性を尊重する保育とはどのようなものか、自分なりの意見をまとめておく。 | 90分 |
| 第10回 | 子どもと人権（4回目） 多様性を尊重する社会のあり方を踏まえて、保育のあり方について理解を深める。 | |
| | 【予習】保育所における性別対応の実態について、調べておく | 90分 |
| | 【復習】性の多様性を尊重する保育とはどのようなものか、自分なりの意見をまとめておく。 | 90分 |

| | | |
|------|---|-----|
| 第11回 | ・保育におけるリスクマネジメント(1回目) 保育現場の園長から講義を聞き、保育現場におけるリスクマネジメントの重要性を理解する。 | |
| | 【予習】保育実習中のヒヤリハットをまとめておく。 | 90分 |
| | 【復習】保育現場におけるリスクマネジメントの重要性についてまとめておく。 | 90分 |
| 第12回 | 保育におけるリスクマネジメント(2回目) 保育におけるリスクマネジメントの考え方に対する理解を深め、場面別の予防と対策を考える。 | |
| | 【予習】保育現場でリスクとなるものをまとめておく。 | 90分 |
| | 【復習】保育におけるリスクマネジメントの考え方をまとめておく。 | 90分 |
| 第13回 | 保育におけるリスクマネジメント(3回目) 保育におけるリスクコミュニケーションの重要性を理解し、ワークショップで理解を深める。 | |
| | 【予習】保育における保護者対応の留意点を、保育所保育指針で確認しておく。 | 90分 |
| | 【復習】リスクコミュニケーションの重要性を、保育所保育指針と結びつけてまとめておく。 | 90分 |
| 第14回 | 保育におけるリスクマネジメント(4回目) 災害等における危機管理の考え方を理解する。 | |
| | 【予習】保育現場における災害事例を調べておく | 90分 |
| | 【復習】保育現場における危機管理の考え方を整理しておく。 | 90分 |
| 第15回 | 総復習と今後の課題 | |
| | 【予習】今まで学んだことを整理しておく | 90分 |
| | 【復習】今まで学んだことをまとめ、今後の課題を考える。 | 90分 |

| | | | | | | | | | |
|---------------------|--|------|-------|-------|---------|-----|---|---|-----|
| 授業科目名 | 経営管理論 | | | 科目コード | M112-13 | | | | |
| 科目区分 | 専門科目 - 経済・経営科目 - 経営 | | 担当教員名 | 木元 清明 | | | | | |
| 開講時期 | 2年後期 | | 授業の方法 | 講義 | | | | | |
| 必修・選択 | 選択 | | 単位数 | 2単位 | | | | | |
| 前提科目(知識) | 経営学の基礎 | | 後継科目 | | | | | | |
| 関連科目 | 日本経済論 金融論 マーケティング演習 経営学特講 | | | | | | | | |
| 資格等 取得との関連 | 上級ビジネス実務士()、上級情報処理士()、ウェブデザイン実務士(-)、 ビジネス実務士()、情報処理士() | | | | | | | | |
| 授業の概要 | 企業は「ヒト」「モノ」「カネ」という経営資産に加えて「情報」を活用しながら、その組織の効率的な目標達成に向けて調整・統合を繰り返しています。つまり、経営資源をバラバラに活用するのではなく、いかに上手く組み合わせるのかによって企業の業績は大きく左右されるのです。この授業では、1年前期で学習した「経営学の基礎」をベースにして、経営資源の各分野における管理および統合戦略の知識を詳細に学びます。難しそうな用語が出てきますが、実際の実例を紹介しながら平易な言葉で授業を進めます。 | | | | | | | | |
| 学習目標 | 現代企業の経営管理を学説や事例を通して学ぶことにより、経営学や経営管理が企業経営において果たす役割について理解すること | | | | | | | | |
| キーワード | 組織構造、個人と集団、戦略論、リーダーシップ | | | | | | | | |
| テキスト・ 参考書等 | テキスト： 塩次喜代明・高橋伸夫・小林敏男（2012） 「経営管理」 有斐閣アルマ 参考図書： | | | | | | | | |
| 学修成果 | 学生が獲得するべき具体的な成果 | | | | | | | | |
| LO-1 | 【知識・理解力】 経営管理に関する基礎用語と基礎理論を理解し、試験とレポートで正しく答えることができる | | | | | | | | |
| LO-2 | 【技能・表現力】 講義と自学習で理解した内容を、Webコメントやレポートで論理的かつ的確に論述することができる | | | | | | | | |
| LO-3 | 【思考・判断力】 経営管理を取り巻く諸問題を発見し、基礎理論から分析した結果をWebコメントやレポートに反映できる | | | | | | | | |
| LO-4 | 【関心・意欲・態度】 経営管理や企業活動に関心を持ち、問題点や事例の情報を収集し、Webコメントやレポートに反映できる | | | | | | | | |
| LO-5 | 【人間性・コミュニケーション力】 | | | | | | | | |
| 評価方法 / LO (学修成果) | 筆記試験 | | 提出課題 | | 成果発表 | その他 | | | 合計 |
| | 定期試験 | 小テスト | レポート | 作品 | | A | B | C | |
| 総合評価(割合) | 60 | | 40 | | | | | | 100 |
| LO-1 | 20 | | 10 | | | | | | 30 |
| LO-2 | 10 | | 20 | | | | | | 30 |
| LO-3 | 20 | | 5 | | | | | | 25 |
| LO-4 | 10 | | 5 | | | | | | 15 |
| LO-5 | | | | | | | | | |
| 備考 | | | | | | | | | |

授業計画

| 回数 | 授業内容 詳細 | 標準時間 |
|------|--|------|
| 第1回 | 「オリエンテーション」： 授業方針の説明 シラバス、ルーブリックを把握して成績評価方法を理解する 本科目の概要と基本用語を理解する | |
| | 【予習】シラバスを読み授業内容を把握 | 30分 |
| | 【復習】授業の全体像を確認する | 60分 |
| 第2回 | 「経営の誕生と経営管理」 現代の企業社会とはなにか 企業の発展と経営管理 | |
| | 【予習】教科書を13ページまで読んでおく 日本の経済規模（GDP）や企業数がいくつあるかを調べてみる | 60分 |
| | 【復習】経済発展の鍵を握るのは企業活動であり、企業が経済活動の主体であることを理解する | 60分 |
| 第3回 | 「管理の生成と発展（第一回）」 管理の時代 近代企業の登場と、企業における所有と支配の分離 財閥の形成と解体および企業集団の形成と、企業合併・買収のブーム | |
| | 【予習】教科書16ページから41ページまで読んでおく 財閥という存在について関連図書やネットで情報を集めてみる | 60分 |
| | 【復習】専門経営者の登場について歴史的背景を参考にしながら時間軸で理解する | 60分 |
| 第4回 | 「管理の生成と発展（第二回）」 経営管理の発展 資本主義と企業の発展 経営管理の諸理論 | |
| | 【予習】教科書42ページから62ページまで読んでおく アダム・スミスの「国富論」について関連図書やネットで調べてみる | 60分 |
| | 【復習】企業の生産性と創造性をより深く探求する理論として経営管理論が出現した経緯を理解する | 60分 |
| 第5回 | 「環境適応の管理（第一回）」 組織のデザイン 機能別組織と事業部性組織の登場 日本型組織デザインと組織の横連携 | |
| | 【予習】教科書64ページから89ページまで読んでおく 自分が興味を持つ大企業のHPをみて、その企業の組織構造がどうなっているか調べてみる | 60分 |
| | 【復習】企業の発展に連動して企業内部の組織構造は大きく変わっていくことを理解する | 60分 |
| 第6回 | 「環境適応の管理（第二回）」 経営戦略 戦略と組織の適合性と企業ドメインの設定 競争戦略とグローバルな展開 | |
| | 【予習】教科書90ページから114ページまで SWOT分析やPPMという手法について関係図書やネットで調べておく | 60分 |
| | 【復習】経営戦略は企業経営の指針であることを理解する | 120分 |
| 第7回 | 「環境適応の管理（第三回）」 資源の管理 企業経営の経営資源である「ヒト」「モノ」「カネ」+「情報」の4要素のシステム化と管理 | |
| | 【予習】教科書115ページから137ページまで読んでおく 企業経営における「資源」とは何かを調べておく | 120分 |
| | 【復習】企業経営にとって「資源」の確保がいかに重要であることを再確認する | 90分 |
| 第8回 | 「環境適応の管理（第四回）」 組織間関係の管理 グローバルなメガ・コンペティション状況と日本におけるこれまでの組織間関係 戦略的提携の諸形態 | |
| | 【予習】教科書138ページから162ページまで読んでおく M&Aに関して関係図書やNETで調べてみる | 60分 |
| | 【復習】日本企業の戦略的提携の背景と課題を理解する | 60分 |
| 第9回 | 「変革の管理（第一回）」 モティベーションと組織活性化 企業という組織を支える人的要因（金銭報酬だけでは説明できない従業員のモチベーション維持と向上） 組織の活性化 | |
| | 【予習】教科書164ページから187ページまで読んでおく 人が企業で働く際に、どのような要因で「やる気」を持つのか、あるいは失うのかを考えてみる | 60分 |
| | 【復習】企業という組織を支えているのは従業員であり、その「やる気」の維持発展が業績拡大への最大のポイントであることを理解する | 60分 |
| 第10回 | 「変革の管理（第二回）」 経営のリーダーシップ リーダーの資質と役割行動 経営ミドル層のリーダーシップとトップのリーダーシップ | |
| | 【予習】教科書188ページから207ページまで読んでおく 企業だけではなく、組織のリーダーに求められる資質を考えてみる | 60分 |
| | 【復習】リーダーの資質と行動が企業の活力と創造性を生む源泉であることを理解する | 60分 |

| | | |
|------|---|------|
| 第11回 | 「変革の管理（第三回）」 企業文化の創造と変革 企業にも人の個性と同じような「固有の文化=企業文化」がある（事例の紹介） 企業文化の4つの類型 | |
| | 【予習】教科書208ページから226ページまで読んでおく 自分が興味を持っている企業の「社是」、「経営理念」、「経営哲学」、「経営行動基準」、「経営標語」などについて、その企業のHPなどを利用して調べてみる | 60分 |
| | 【復習】企業には企業文化とい「見えざる秩序と構造」があり、この概念が企業を特徴づけていることを理解する | 60分 |
| 第12回 | 「現代の経営管理と展望（第一回）」 日本の経営管理 日本的経営の特殊性 | |
| | 【予習】教科書228ページから254ページまで読んでおく 終身雇用について関係図書やネットで調べてみる | 60分 |
| | 【復習】日本の企業における経営管理には日本文化に根ざした特殊性があるが、グローバル時代との整合性に関して理解する | 60分 |
| 第13回 | 「現代の経営管理と展望（第二回）」 グローバル戦略 企業の多国籍化 グローバル経営 | |
| | 【予習】教科書255ページから274ページまで読んでおく 多国籍企業とは自国のみならず複数の海外拠点をもって活動している企業であるが、日本の代表的企業を取り上げてホームページなどから海外拠点展開の状況を調べてみる | 60分 |
| | 【復習】著名企業の多国籍化とグローバル化について理解する | 60分 |
| 第14回 | 「現代の経営管理と展望（第三回）」 育てる経営の管理 管理から経営へ 育てる経営 | |
| | 【予習】教科書275ページから最後まで読んでおく 今までの授業を振り返って、これからの企業に必要な管理について問題点と課題を考えてみる | 60分 |
| | 【復習】今までの授業の総復習を行い、理解の浅い部分について再学習する | 120分 |
| 第15回 | 本授業で期末試験（45分程度）を実施し、試験終了後に授業アンケートに答えて退室する | |
| | 【予習】試験対策のまとめ | 120分 |
| | 【復習】 | 180分 |

| | | | | | | | | | |
|---------------------|---|------|-------|-------|---------|-----|---|---|-----|
| 授業科目名 | 高齢者福祉論 | | | 科目コード | W121-13 | | | | |
| 科目区分 | 専門科目 - 介護 - 介護の基本 | | 担当教員名 | 関 好博 | | | | | |
| 開講時期 | 2年後期 | | 授業の方法 | 講義 | | | | | |
| 必修・選択 | 選択 | | 単位数 | 2単位 | | | | | |
| 前提科目(知識) | 高齢者福祉論、社会保障、生活支援技術 | | 後継科目 | なし | | | | | |
| 関連科目 | 介護福祉論・、生活支援技術・、社会保障、認知症ケア論・、障害者ケア論・、介護過程、介護過程、介護福祉総合演習 | | | | | | | | |
| 資格等 取得との関連 | 介護福祉士指定科目、社会福祉主事任用資格 | | | | | | | | |
| 授業の概要 | 介護の対象となる高齢者・障害者の特性、介護実践の場の特性を踏まえて、高齢者を支援する組織と役割、高齢者支援の方法と実際について学習する。 | | | | | | | | |
| 学習目標 | 高齢者保健福祉制度を体系的に把握し、介護保険制度の基本的理解やサービスの体系について習得する | | | | | | | | |
| キーワード | 高齢者支援組織 高齢者支援方法 介護予防 | | | | | | | | |
| テキスト・ 参考書等 | 社会福祉士要講座編集委員会 「高齢者に対する支援と介護保険制度」 新・社会福祉士養成講座13 中央法規 | | | | | | | | |
| 学修成果 | 学生が獲得するべき具体的な成果 | | | | | | | | |
| LO-1 | 高齢者の特性や現代社会における高齢者の生活実態について考察でき、高齢者保健福祉制度に影響を及ぼした社会的要因を探り、介護保険制度を中心とした高齢者支援内容を理解できる | | | | | | | | |
| LO-2 | | | | | | | | | |
| LO-3 | グループで意見交換することで高齢者支援に対する視点を共有し、高齢者福祉制度の内容について理解できる | | | | | | | | |
| LO-4 | | | | | | | | | |
| LO-5 | | | | | | | | | |
| 評価方法 / LO (学修成果) | 筆記試験 | | 提出課題 | | 成果発表 | その他 | | | 合計 |
| | 定期試験 | 小テスト | レポート | 作品 | | A | B | C | |
| 総合評価(割合) | 100 | | | | | | | | 100 |
| LO-1 | 70 | | | | | | | | 70 |
| LO-2 | | | | | | | | | |
| LO-3 | 30 | | | | | | | | 30 |
| LO-4 | | | | | | | | | |
| LO-5 | | | | | | | | | |
| 備考 | | | | | | | | | |

授業計画

| 回数 | 授業内容 詳細 | 標準時間 |
|------|--|------|
| 第1回 | 介護の概念や対象を理解する | |
| | 【予習】テキスト第11章 P301～P311まで読む | 90分 |
| | 【復習】介護の概念について歴史的背景を鑑み、理解を深める | 90分 |
| 第2回 | 介護の専門性の理解と介護の対象者 | |
| | 【予習】テキスト第11章 P312～P334 を読む | 90分 |
| | 【復習】介護の専門的理解と対象者について関連性をまとめ、ICFの視点からも考えを深める | 90分 |
| 第3回 | 介護予防の概念と介護人材確保について | |
| | 【予習】テキスト 第11章 P335～P342まで読む | 90分 |
| | 【復習】「介護」の本質や内容について、振り返り概説できるようにする | 90分 |
| 第4回 | 高齢者を支援する組織と役割 行政機関の役割・指定サービス事業者・国民健康保険団体連合会の役割 | |
| | 【予習】テキスト第8章 P214～P224まで読む | 90分 |
| | 【復習】国・都道府県・市町村の組織と、指定サービス事業者、国民健康保険団体連合会が介護保険制度等との関わりや具体的内容について理解する | 90分 |
| 第5回 | 公開セミナー | |
| | 【予習】 | 90分 |
| | 【復習】 | 90分 |
| 第6回 | 高齢者を支援する組織と役割 地域包括支援センターの組織体系と役割 | |
| | 【予習】テキスト 第8章 P225～P233まで読む | 90分 |
| | 【復習】地域包括支援センターの活動の実際を理解し、運営組織や地域包括ケアの役割について深く理解する | 90分 |
| 第7回 | 高齢者を支援する組織と役割 社会福祉協議会とボランティア団体・非営利民間活動 | |
| | 【予習】テキスト第8章 P234～P247まで読む | 90分 |
| | 【復習】社会福祉協議会やボランティア団体と地域住民との協働の必要性和地域社会の仕組みについて理解を深める | 90分 |
| 第8回 | 高齢者支援の方法と実際 高齢者支援の方法 | |
| | 【予習】テキスト第9章 P250～P261まで読む | 90分 |
| | 【復習】高齢者支援の基本理念や高齢者理解の方法を確認した上で、多様な支援方法のうち、個人・家族に対する相談援助、グループ・地域を活用して相談援助を行う方法をする際の留意点を理解する | 90分 |
| 第9回 | 高齢者支援の方法の実際 介護保険法における連携と実際 | |
| | 【予習】テキスト第9章 P262～P285まで読む | 90分 |
| | 【復習】「居宅」「介護予防」「施設」「虐待」における実践事例をととして、多様な「場」と「方法」を用いて提供される支援の実際について学びを深める | 90分 |
| 第10回 | 高齢者を支援する専門職の役割と実際 専門職の役割と実際 | |
| | 【予習】テキスト 第10章 P286～P290まで読む | 90分 |
| | 【復習】さまざまな福祉分野の資格について理解を深める | 90分 |

| | | |
|------|---|-----|
| 第11回 | 高齢者を支援する専門職の役割と実際 専門職による協働・倫理 | |
| | 【予習】テキスト 第10章 P291～P300まで読む | 90分 |
| | 【復習】チームアプローチについて理解を深め、連携や協働を効果的・効率的に進めるための方法や留意点を理解する | 90分 |
| 第12回 | 介護過程 介護各論 自立に向けた介護・家事における自立支援 | |
| | 【予習】テキスト第12章 P344～P361までと第13章 P366～P385まで読む | 90分 |
| | 【復習】介護過程の概要と展開技法を振り返り、理解を深める。自立支援としての介護の展開と家事における自立支援について振り返り理解を深める | 90分 |
| 第13回 | 介護各論 身支度・指導・睡眠・食事・口腔衛生・入浴・清潔・排泄の介護 | |
| | 【予習】テキスト第13章 P375～P399まで読む | 90分 |
| | 【復習】身支度・指導・睡眠・食事・口腔衛生・入浴・清潔・排泄の介護を振り返り、支援方法について理解を深める | 90分 |
| 第14回 | 介護各論 認知症ケア | |
| | 【予習】テキスト第14章 P400～P427まで読む | 90分 |
| | 【復習】認知症ケアの理解と認知症高齢者を取り巻く現状について理解し、支援方法を考える | 90分 |
| 第15回 | 介護各論 終末期ケア・住環境 | |
| | 【予習】テキスト第14章 P428～P455まで読む | 90分 |
| | 【復習】終末期ケアをめぐる概念からケアの実際、家族との関係や居住環境について考えを深める | 90分 |